

27年12月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成27年12月1日～ 27年12月10日

2. 調査実施方法

全国の木材チップ工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
12月分の回答企業数は11社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) チップ用国産原木の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/12月	28/1月	28/2月
入荷動向	スギ・ヒノキ	△ 5.0	△ 5.0	△ 25.0
	マツ	△ 40.0	△ 35.0	△ 30.0
	広葉樹	△ 36.4	△ 45.5	△ 36.4
消費動向	スギ・ヒノキ	△ 5.6	△ 11.1	△ 11.1
	マツ	△ 27.8	△ 27.8	△ 27.8
	広葉樹	△ 25.0	△ 30.0	△ 30.0
在庫動向	スギ・ヒノキ	△ 25.0	△ 20.0	△ 30.0
	マツ	△ 40.0	△ 35.0	△ 30.0
	広葉樹	△ 43.2	△ 40.9	△ 40.9

・チップ用国産原木の入荷、消費及び在庫は3ヵ月連続して減少。

(2) チップ用国産原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	27/12月	28/1月	28/2月
スギ・ヒノキ	10.0	10.0	5.0
マツ類	5.0	5.6	5.6
広葉樹	10.0	5.0	5.0

・チップ用国産原木の価格はスギ・ヒノキ、マツ類及び広葉樹共にやや強含みで推移。

モニターからのコメント

(原木荷動き)

- ・スギはシステム材の入荷によりやや増加、広葉樹は天候不順で入荷量減少。スギ在庫増、マツ・広葉樹の在庫横ばい、(東北)。
- ・降雪期で入荷は減少、12月は師走で稼働日数減少、1月は休日多く、原木入荷の減少が心配(中部)。
- ・雪の影響も予想されるが、大きな変動なし(中国)
- ・入荷量やや増加だが、積雪で出材減少が考えられる。バイオマス、製紙、ボードメーカーとも原料が必要で消費はやや増加。チップ需要で在庫はやや減少、2月は仕入減で在庫も減少(四国)。
- ・12月は、月初から入荷が多い、1月～2月は天候不順やスギ・ヒノキは用材を先に運送することなどから入荷はやや減少。11月は製紙の定期点検などで出荷減少したが、12月からは通常ペースで出荷。チップ生産をフル稼働で在庫は適正化しつつある。夏場の機械改修の減産の影響で原木在庫が多い(九州)。
- ・仕入れは低調に推移、広葉樹は仕入状況に応じて消費(九州)。

(原木価格)

- ・発電用燃料向け増加のため価格上昇気味(東北)。
- ・変動なし(中国)
- ・変動なし(四国)。
- ・しばらくは変化なしと思う(九州)。
- ・現状維持(九州)。

27年12月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 2

4. 調査結果の概要

(1) 木材チップの荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/12月	28/1月	28/2月
生産 動向	スギ・ヒノキ	△ 12.5	△ 18.8	△ 31.3
	マツ類	△ 37.5	△ 31.3	△ 31.3
	広葉樹	△ 38.9	△ 44.4	△ 44.4
出荷 動向	スギ・ヒノキ	△ 6.3	△ 12.5	△ 25.0
	マツ類	△ 27.8	△ 27.8	△ 27.8
	広葉樹	△ 35.0	△ 40.0	△ 40.0
在庫 動向	スギ・ヒノキ	△ 33.3	△ 25.0	△ 25.0
	マツ類	△ 41.7	△ 33.3	△ 33.3
	広葉樹	△ 42.9	△ 35.7	△ 35.7

・木材チップの生産、出荷及び在庫は3ヵ月連続して減少。

(2) 木材チップ出荷価格動向(自社サイロ下渡し)W

品目	27/12月	28/1月	28/2月
スギ・ヒノキ類	0.0	0.0	0.0
マツ類	0.0	0.0	0.0
広葉樹	0.0	0.0	0.0

・木材チップの出荷価格は3ヵ月連続して横ばい。

モニターからのコメント

(木材チップ荷動き)

- ・変動なし(中国)
- ・原木入荷増の見通しで生産やや増、翌々月は積雪で入荷減、生産もやや減少。当月、翌月までは原木入荷やや増して生産も増え、出荷もやや増。在庫は燃料用は横ばい、製紙・ボード用は減少(四国)。
- ・生産、出荷は、12月から通常ペースとなった。チップ在庫はしていない(九州)。
- ・スギチップ生産はやや減少、広葉樹は入荷に応じた生産(九州)。

(木材チップ価格)

- ・変動なし(中国)。
- ・変動なし(四国)。
- ・しばらくは変化なしと思う(九州)。
- ・現状維持(九州)。